

群馬県鉱工業指数 令和 7 年 1 0 月分

1. 公表内容

10月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、化学工業などが低下したことから、2か月ぶりのマイナスとなった。

○概況

生産、在庫は低下、出荷は横ばいで推移

◆ 10月の主な数値の動向（調査産業計）

（令和2年＝100）

	季節調整済指数			原 指 数		
	総合指数	前月比(%)		総合指数	前年同月比(%)	
生 産	96.7	▲ 29.8	2か月ぶり－	103.5	▲ 18.1	2か月連続－
出 荷	94.5	0.0	横ばい	104.0	▲ 12.2	4か月連続－
在 庫	189.7	▲ 8.7	4か月ぶり－	191.2	21.0	7か月連続＋
在庫率	194.6	14.4		190.8	62.5	

○生産指数は、季節調整済指数で、2か月ぶりのマイナス、原指数で、2か月連続のマイナスとなった。

○出荷指数は、季節調整済指数で、横ばい、原指数で、4か月連続のマイナスとなった。

○在庫指数は、季節調整済指数で、4か月ぶりのマイナス、原指数で、7か月連続のプラスとなった。

○総合指数前月比の伸び率（上昇又は低下）に影響を与えた主な業種

（）内は前月比

<生産>低下：化学工業（▲ 81.3 %）、電気機械工業（▲ 11.8 %）

<出荷>上昇：業務用機械工業（12.1 %）、化学工業（3.7 %）

低下：輸送機械工業（▲ 3.5 %）、電気機械工業（▲ 2.5 %）

<在庫>低下：化学工業（▲ 15.4 %）、電気機械工業（▲ 16.0 %）

○前月比が最も大きかった業種

<生産>上昇：情報通信機械工業（59.6%）／ 低下：化学工業（▲ 81.3%）

<出荷>上昇：情報通信機械工業（24.6%）／ 低下：木材・木製品工業（▲ 27.6%）

<在庫>上昇：情報通信機械工業（36.5%）／ 低下：鉱業（▲ 17.8%）

2. 事業の概要

【目的】

県内の鉱業、製造業等の事業所における生産量、出荷量、在庫量の動態を調査し、指数化することにより、県内の産業活動の状況を総合的に把握し、景気動向の分析等のための基礎資料とする。

【作成方法】

令和2年（2020年）を基準年として、その鉱工業製品の1か月当たりの平均生産量、出荷量、在庫量を算出し、各品目の基準時ウェイトで加重平均して指数化する。

【各指数の品目数】

- ・生産指数・・・171品目
- ・出荷指数・・・164品目
- ・在庫指数・・・91品目
- ・在庫率指数・・・84品目

《参考事項》

- ・季節調整済指数…1年を周期として季節が要因となり起こる変動(季節変動)を取り除いた指数をいう。
- ・原指数…季節調整をしていない指数をいう。

3. 次回公表予定

令和8年1月末（令和7年11月分）

令和7年10月分

○総合指数前月比の伸び率に影響を与えた主な業種・品目

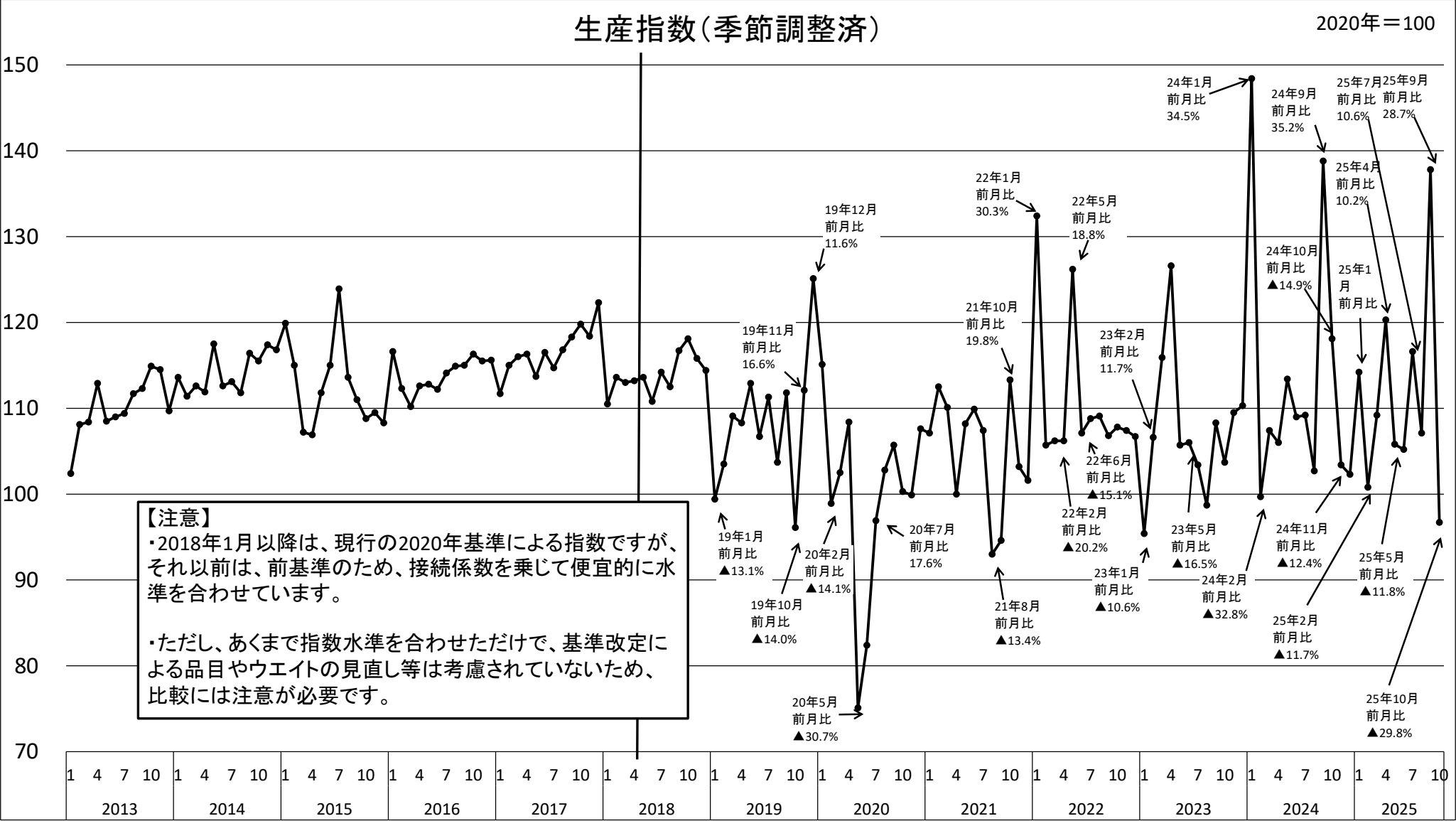
		業 種	前月比 寄与度	前月比%	寄与した主な品目	
生産	上昇	情報通信機械工業	0.4	59.6	ボタン電話装置	端末装置
		業務用機械工業	0.2	15.9	娯楽機器	自動販売機
	低下	化学工業	▲ 35.2	▲ 81.3	医薬品製剤	
		電気機械工業	▲ 1.1	▲ 11.8	半導体・IC測定器	
		輸送機械工業	▲ 1.0	▲ 6.5	普通乗用車	ガソリンエンジン
出荷	上昇	業務用機械工業	0.4	12.1	娯楽機器	自動販売機
		化学工業	0.3	3.7	化粧品	合成洗剤
	低下	輸送機械工業	▲ 1.1	▲ 3.5	普通乗用車	ガソリンエンジン
		電気機械工業	▲ 0.2	▲ 2.5	半導体・IC測定器	
在庫	上昇	プラスチック製品工業	0.3	5.3	プラスチック製機械器具部品	プラスチック製日用品・雑貨
		非鉄金属工業	0.1	10.3	アルミニウムはく	
	低下	化学工業	▲ 9.0	▲ 15.4	医薬品製剤	
		電気機械工業	▲ 0.8	▲ 16.0	自然冷媒ヒートポンプ式給湯機	

(注)寄与した主な業種・品目の掲載順序は、上昇、低下とも寄与の大きい順である。一部秘匿あり。

○前月比が最も大きかった業種

		業 種	前月比 寄与度	前月比%	寄与した主な品目
生産	上昇	情報通信機械工業	0.4	59.6	ボタン電話装置
	低下	化学工業	▲ 35.2	▲ 81.3	医薬品製剤
出荷	上昇	情報通信機械工業	0.3	24.6	端末装置
	低下	木材・木製品工業	▲ 0.1	▲ 27.6	製材
在庫	上昇	情報通信機械工業	0.1	36.5	ボタン電話装置
	低下	鉱業	▲ 0.0	▲ 17.8	石灰石

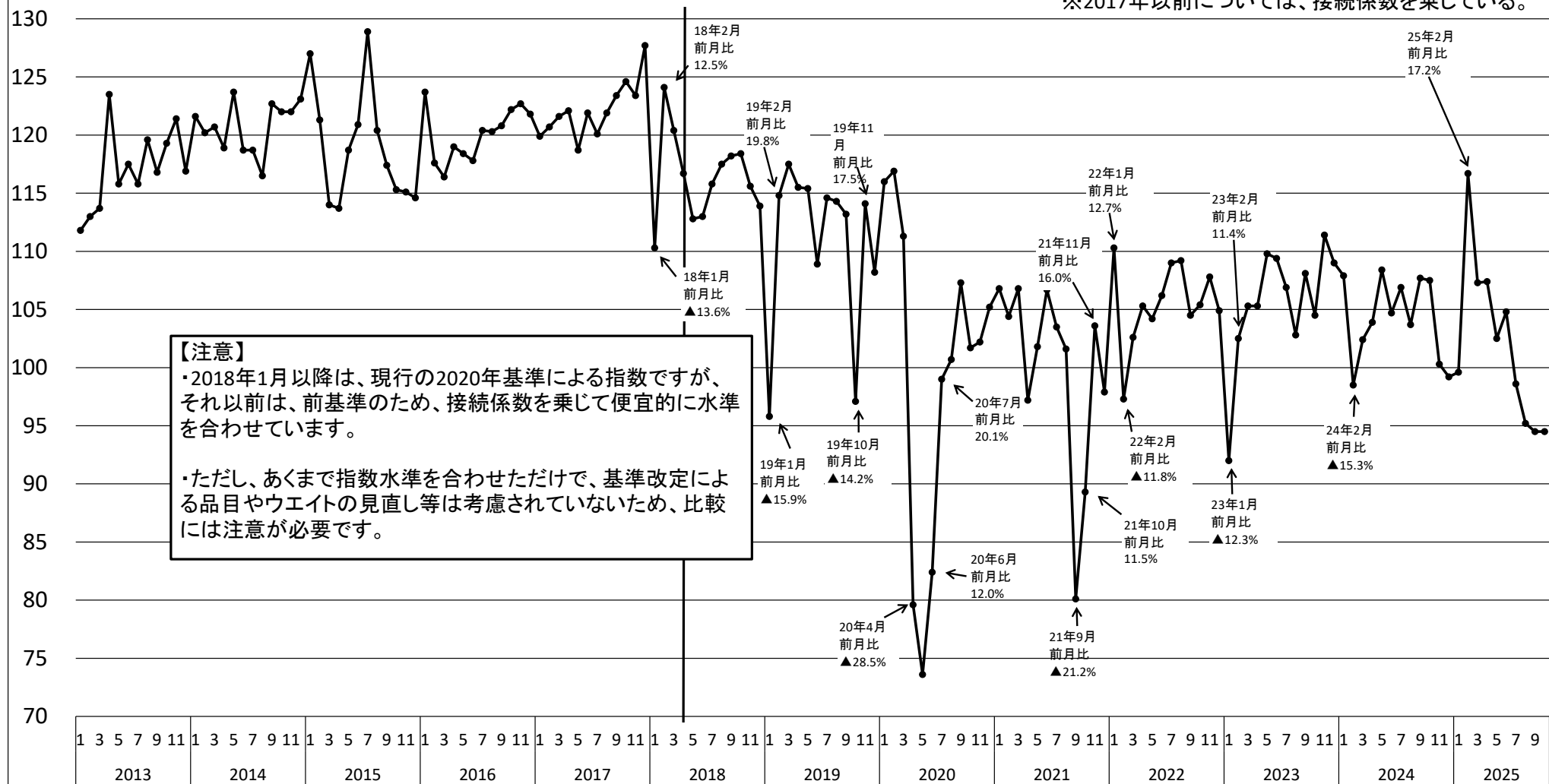
○群馬県鉱工業指数の動き



2015年基準:2013年～2017年 2020年基準:2018年～2022年 2025年基準:2023年～2027年(予定)
※2023年以降の指数については、2025年基準改定(2028年度頃実施予定)の際に、2025年基準で遡及して再計算する予定です。2025年の基準改定までは、2020年基準による指数を作成します。

出荷指数(季節調整済)

2020年=100
※2017年以前については、接続係数を乗じている。

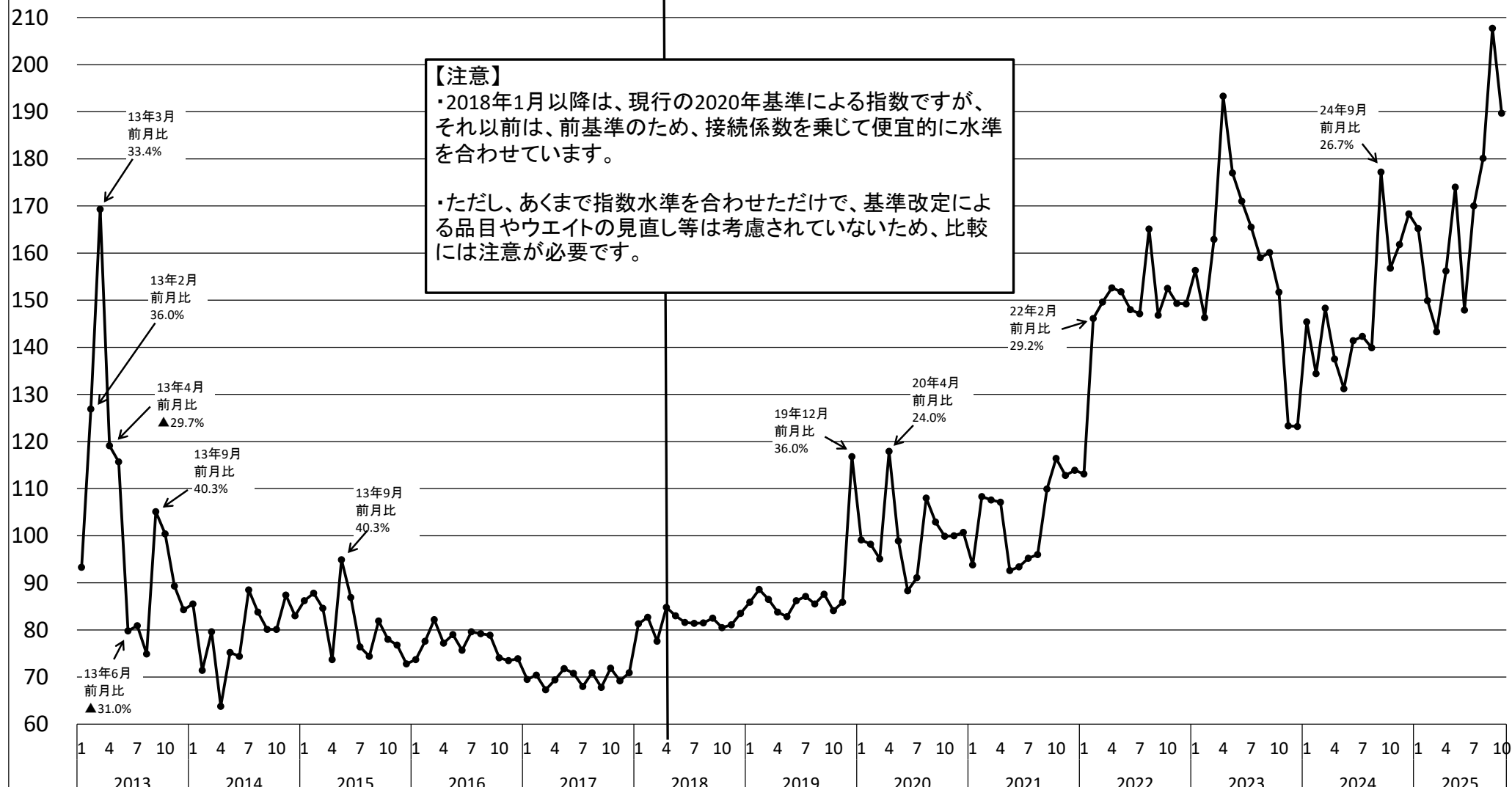


2015年基準:2013年～2017年 2020年基準:2018年～2022年 2025年基準:2023年～2027年(予定)

※2023年以降の指数については、2025年基準改定(2028年度頃実施予定)の際に、2025年基準で遡及して再計算する予定です。2025年の基準改定までは、2020年基準による指数を作成します。

在庫指数(季節調整済)

2020年 = 100
※2017年以前については、接続係数を乗じている。



2015年基準: 2013年～2017年 2020年基準: 2018年～2022年 2025年基準: 2023年～2027年(予定)

※2023年以降の指数については、2025年基準改定(2028年度頃実施予定)の際に、2025年基準で遡及して再計算する予定です。2025年の基準改定までは、2020年基準による指数を作成します。

○ 全国・関東経済産業局との比較

2020年=100

